

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 佐賀空港庁舎一般事務室用空気調和設備工事

開札年月日 令和5年6月30日 (落札決定日 令和5年7月26日 )

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥ 39,930,000 -

落札者 吉村空調工業株式会社

予定価格 ￥ 63,866,000 -

積算額 ￥ 63,866,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 58,060,000 -

調査基準価格 ￥ 58,740,000 - 調査基準価格の100/110 ￥ 53,400,000 -

基準評価値 172.235

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点124点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
吉村空調工業株式会社	107.5	36,300,000	296.143	○				落札
株式会社菱熱	114.0	56,300,000	202.486	○				
株式会社岡工務店	-	辞退	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。  
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）  
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。  
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。  
 ※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和5年7月26日に落札者を決定した。



## 低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：佐賀空港庁舎一般事務室用空気調和設備工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者名：吉村空調工業株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>直接工事費において、主要機器及び各機材は、長年にわたり取引関係のある協力会社から調達することから、廉価かつ確実に確保でき、工事は、主要工種（機器設置、配管）は自社の社員が、その他工種は長年にわたり取引関係のある協力会社（下請会社）が主に実施することから適正に施工できること、また、本工事場所である佐賀空港の近隣（15km程度の距離）に事務所・倉庫を有しており、資機材運搬・管理、交通費及び施工図等作成の外注費などの経費低減が図れるため。</p> <p>また、工事場所から事務所が近いこと及び官公庁発注の工事を受注したいという社内方針を踏まえて十分に検討し、共通費の低減を図ったため。</p>
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者及び現場代理人の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、本工事において当該技術者を配置可能であることから、適正であると思料される。</p>
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者及び現場代理人の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、本工事において当該技術者を配置可能であることから、適正であると思料される。</p>
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	<p>当該工事場所である佐賀空港は調査対象者の事務所・倉庫から近距離（15km程度）に位置するため、資機材運搬・管理及び社員の派遣が容易であり、運搬費、交通費などの経費が低減でき、緊急時の対応及び安全管理についても適切に対応できることを資料及びヒアリングにより確認した。</p>

(5) 手持資材の状況	手持ち資材なし。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	主要機器及び各資材について、長年にわたり継続して取引のある協力会社から調達することから、廉価かつ確実に購入することが可能であることを資料及びヒアリングにより確認した。
(7) 手持機械数の状況	手持ち機械なし。
(8) 労務者の具体的供給見通し	自社の社員及び長年にわたり継続して取引関係のある協力会社（下請会社）において実施することとしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認した。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成30～令和5年度において、空気調和設備工事としては、国4件（国土交通省2件、その他機関2件）、国立大学法人4件、地方公共団体11件の計19件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評価は平均76点であり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が6件あったものの、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることが確認できた。
(10) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとは言えないことなどから、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとは認められなかった
(12) (9)の公共工事の成績状況	過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題ないと判断する。
(13) 経営状況	問題なし。

(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	貸金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無